

2018年度

滋賀県・京都ボート協会共催安全講習会

琵琶湖漕艇場および瀬田川での順守事項

公益財団法人滋賀県スポーツ協会

滋賀県立琵琶湖漕艇場

琵琶湖漕艇場および瀬田川での遵守事項

琵琶湖漕艇場では、利用していただくみなさまの安全を第一に考え、ボート・カヌーの練習時における事故防止のため、次のことに注意し共通理解を図っています。

出艇の際は、「自分の身は自分で守る」ことを意識し、事故の未然防止と安全管理に努めてください。

1 出艇前の安全確認について

(1) 出艇前の気象状況の確認

天気予報、風向風速、波、雷、空模様を確認してください。特に突風にはご注意ください。

突然の雷や突風、雨の対応について各団体で対応マニュアルの作成を。

漕艇場コース内の湖面状況をホームページにアップしております。コースコンディションを確認する時にぜひご利用ください（ゴール付近の映像になります）。

(2) 瀬田川放流量の確認

300t以上の場合 漕艇場審判長席に 黄色 吹き流しを揚げます。

全開放流（600t）以上）の場合 漕艇場審判長席に 赤色 吹き流しを揚げます。

※300t以上放流日数

平成30年度 300t放流日数 0日（250ト以上が53日間） . . . 別紙資料1

600t放流日数 20日 合計40日

平成29年度 300t放流日数 0日（250ト以上が22日間）

600t放流日数 18日 合計40日

平成28年度 300t放流日数 4日（250ト以上が13日間）

600t放流日数 15日 合計32日

平成27年度 300t放流日数 19日（250ト以上が15日間）

600t放流日数 19日 合計 53日

※ボート・カヌーの関係団体（代表者）には、緊急時や瀬田川放流量が300tを超えるとメールを配信しています。コースおよび瀬田川で練習する機会のある方は、各団体の代表アドレスを漕艇場にお知らせください（※変更や配信停止の希望があった場合も連絡をお願いします）。

琵琶湖漕艇場Eメールアドレス：boat@bsn.or.jp

南郷洗堰の放流量とびわ湖の水位の情報：

琵琶湖河川事務所ホームページ <http://www.biwakokasen.go.jp>

(3) 自分自身の健康状態

自覚症状のある場合は無理をしないことが大切です。また、熱中症は自覚症状がない場合があるので、事前に水分補給や帽子をかぶるなど、練習前から防止に努めてください。

(4) 救命浮輪の装備・ライフジャケットの着用

初心者ならびに伴走のいないクルーは、ライフジャケット等を着用し、各個で安全確保に努めて下さい（6/26 京都新聞 琵琶湖の船舶事故の記事掲載）。

2 コースルール・マナーについて

(1) コースルール

順行・・・スタートからゴール方向　逆行・・・ゴールからスタート方向
回漕レーン（赤白ポールから沖合50mまで）逆行

0レーンは初心者専用レーンです。回漕レーンではありませんので注意して下さい。

①平常時（7月20日～8月31日を除く）

1・2・3レーン　ボート・カヌーとも順行

4・5・6レーン　ボート・カヌーとも逆行

舵手のいない艇は、すれ違う3、4レーンは使用禁止です。

②夏混雑時（7月20日～8月31日）

1・2・3レーン　ボート専用順行

4・5・6レーン　カヌー専用順行

③コースブイ、ステッキボートが入っているとき

全レーン順行

※ブイの設置・撤去作業中はコース内では練習できません。放送等で注意はしますが、大会の前日は十分注意するようにしてください。

コース内に、レース用のブイまたはステッキボートが1本でも入ればコース内は全て順行になります。設置状況を十分確認し、他の艇の動きを確認して練習してください。

④大会開催時（漕艇場審判長席に　水色　吹き流しを揚げます。）

コース占有になりますので、練習はご遠慮ください。

ステッキボート・スタート台設置時は、ワイヤーやロープに注意してください。

(2) 練習時における事故防止等注意事項

練習の際は、自己の責任において【漕艇場および瀬田川での共通ルールの遵守】はもちろんのこと、特に下記事項を踏まえ事故防止に努めてください。

① 艇の進行方向ならびに周囲には、常に気を配り事故防止に努めること。

② 非常時に備え必ず、すぐに連絡ができるような体制にしておくこと。携帯に、代表者、艇庫、漕艇場等の連絡先を登録して下さい。各団体で、緊急時の連絡体制を整えてください。

また、単独練習を避け、伴走などをつけること。

③ コース内・瀬田川流域において操業中の漁船等を発見したときは、必ずそのレーンを十分に確認し

て接触事故等のないよう注意すること。特に、舵手のいない艇は進行方向に十分注意すること。万一トラブルが発生したときは、お互いに名前・連絡先等の情報を交換し、良好な人間関係の中で事後処理にあたること。

- ④ コース内・瀬田川流域で万一事故が発生したときは、協会様式のアクシデントレポートを提出するとともに、漕艇場にも事故報告をすること。

(事故再発防止の共有化をはかるため)

- ⑤ 瀬田川では右側航行を遵守すること。
- ⑥ 日没後・夜明け前の練習は、特に衝突事故の発生率が高いので、練習する場合は必ず艇首・艇尾に視認性の良いライトを点灯してください。
- ⑦ 瀬田川洗堰の放流量300t以上の場合は、石山寺港乗船場より下流へは下らない。全開放流(600t以上)の場合は、瀬田川での練習は、自粛する。

※平成24年3月17日漕艇場主催の安全対策会議にて確認→「大会運営・安全に関する確認事項」

3 救助について

琵琶湖漕艇場では、施設開場時はモーターボートでの救助体制を整えています。練習は、単独練習は避け、必ず伴走者をつけてください。

緊急時や艇が沈没(沈)した場合、連絡者(要請者)は、団体名、沈した場所、艇の種類、状況等をお知らせください。原則として、救助艇の出発に間に合うようでしたら同乗をお願いします。

平成30年度 別紙救助実績(30年12月12日現在) 64回出動・・・別紙資料2

平成29年度 別紙救助実績(30年12月12日現在) 64回出動・・・別紙資料3

4 瀬田川における危険箇所について

① 水管橋およびJR鉄橋付近

橋脚の幅が狭くなっています。そして、水管橋・JR鉄橋の橋脚幅がそれぞれ違いますので瀬田川へ下る際は、十分注意してください。

② 唐橋付近

中之島および旧あみ定の所にあみ船が数多く停泊しています。右側航行ですので十分注意をしてください。橋脚幅が狭いので、京大艇庫付近が死角となりますので注意してください。

③ 石山寺付近

川幅が急に狭くなりカーブをしていますので危険です。絶対にショートカットはしないでください。衝突事故の原因ともなりますので、特に注意をしてください。

④ 京滋バイパス・膳所自動車教習所付近

橋脚に注意することはもちろんですが、流量計の鉄塔が建っていますので前方の注意を怠らないでください。

⑤ 南郷洗堰付近

航行禁止区域の表示板およびワイヤーがあります。発電所付近にさしかかったら十分注意してください。そして、発電所の水門には絶対近づかないでください。

⑥ 瀬田町の漁港付近

漁船の運航の妨げにならないように、漁港の入口周辺では特にご注意ください。

5 その他

(1) 駐車場について

漕艇場の駐車場スペースに限りがあります。

大会で多くの車が来場される場合は、主催団体で責任をもって確保して下さい。

(2) 漕艇場コース沿いの大津市公園緑地の伴走について

コース沿いの公園が整備され、多くの方が散歩、ジョギングをされています。

自転車の伴走については、歩行者を優先とし、安全な走行を心がけてください。

メガホン等を使用した走行中のコース内への指示は禁止とし、指示をする場合は、必ず停止すること。

(3) 瀬田川での工事について

・現在情報はありません。

(4) その他

◎ 漕艇場主催の CPR&AED 実技講習会を実施します。参加料無料です。

日程は現在調整中ですが、参加料無料、先着順で、各団体から 2 名様まで。

詳細は後日ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

◎ 平成 31 年度の漕艇場一般利用申込は、平成 31 年 2 月 9 日（土）から受付を行います。

◎ 琵琶湖漕艇場主催の安全対策会議は、平成 31 年 3 月 2 日（土）を予定しています。